

# DESIGNIDEA

会津漆器  
伝統技術

1

1998.3

23

# 消蒔絵

消蒔絵は、消金もしくは、消金蒔絵とも呼ばれる。金箔を主原料とし水飴とともに混ぜ練り合わせた後、温湯で水篩し、乾燥後さらに篩にかけて選別された最も細かな金粉が消金粉である。

この消金粉を使用した消蒔絵には、平蒔絵と高蒔絵の2つの技法があり、平蒔絵は塗物に地描漆で直接描き、消金粉を蒔き付け、高蒔絵においては、高上漆（会津呼一下絵漆）と呼ばれる漆を使い盛り上げ、乾燥後に節研ぎ、胴擦りを行い、平蒔絵同様、地描漆で文様を描き、消金粉を蒔き付ける方法がある。

この時、使われる地描き漆は黄色顔料（石黄）と辺搔漆（生正味）を調合させたものを使用する。この調合方法は、消金粉の付着力をよくすることと、消金粉の発色効果を高める目的で行う。

消金粉を蒔き付けた後、高級化を目指すものについては、磨絵と呼ばれる技法をもちい、早蒔きし、数回の摺

り漆を重ねた後、鹿の皮などで磨き、消金粉の付着力を増し、金色を優雅に表現させることを目的とした技法もある。さらには、消金粉を蒔き放しにする技法として、粉絵と呼ばれるものもあり、仕上げについては、毛打と称される線描きを行い、先に描いた消金粉の光沢と金色の異なった光沢が得られることで、面の模様と仕上げの線描きが、はっきりしたコントラストが表現できる。

以上が消蒔絵の概要であり、この技術は、会津の独特な技法とされ、会津の蒔絵技法の中でも、象徴的な存在である。

## 消蒔絵工程表



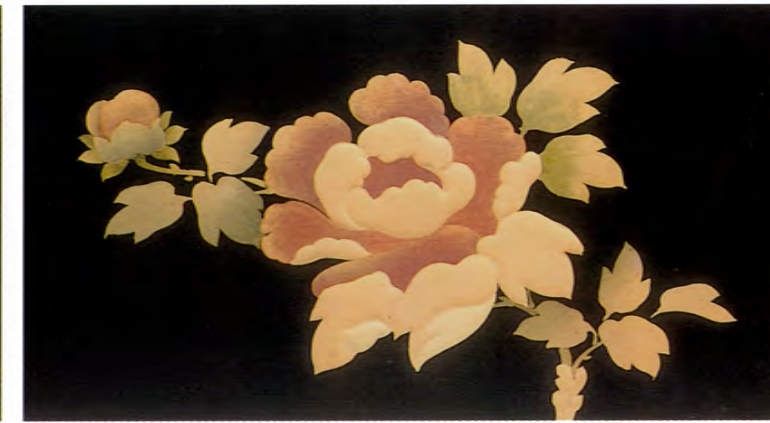
1) 置目



5) 地描き・粉蒔き・色粉蒔き（蒔き分け 3回目）



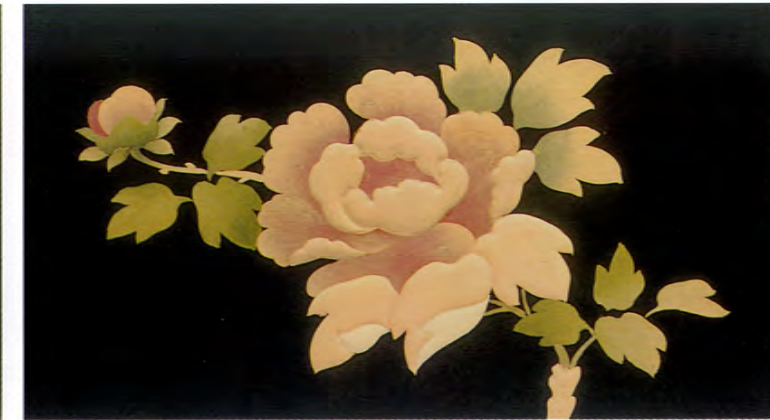
2) 高上げ・節研ぎ・胴摺り



6) 摺漆 1回目



3) 地描き・粉蒔き・色粉蒔き（蒔き分け 1回目）



7) 摺漆 2回目



4) 地描き・粉蒔き・色粉蒔き（蒔き分け 2回目）



8) 仕上げ（毛打ち）



# 錦 絵

錦絵は、会津ではくくまれて栄えた加飾技術である。黒地に朱磨き、朱地には黒の雲形を描き、牡丹、鳳凰、宝尽くし、松、竹、梅、鶴、亀等各種の模様を消蒔絵で線描きし、その線描の内を彩漆（色漆）で埋め描きしたもの又は、色粉蒔きしたもので、会津の加飾技法の総合利用と言うべき技法である。

錦絵の由来は、全体の印象が錦織を思わせることから、錦絵と称されて来ており、古びた感じの中に、豪華さと気品があり、会津独特の技法として親しまれ、盆類、小箱等に多く使用されてきた経緯がある。



## 錦絵工程表



1) 置目・朱雲形描き



2) 摺り漆・磨き



3) 色粉蒔き・摺り漆・磨き



4) 牡丹（描き）線描き・消金粉蒔き



5) 鳳凰・宝尽くし・消金粉蒔き・仕上げ

# 消金地

消金地は、会津のみにて行われて来た独特の技法で、幕末以来、輸出品として多量に生産されて来た。

大正時代までは、手掌で漆をたたくように塗布し、消金粉を蒔いて来たが、その後、綿で摺り漆をして、消金粉を蒔くように改善された。

消金地は、花塗りの上に行う技法であるために、塵による節は炭研ぎし取り除き、肌を均一とした後に、胴擦りを行い、その後、摺り漆をするが、その時使用される漆は、辺搔漆（生正味）と卸漆を混ぜ合わせた漆を使用し、その際の摺り漆は均一に行う事が重要となり、熟練を要する。

摺り漆後、消金粉を蒔き付け、さらに乾き具合をみたうえで、消金粉を蒔き均一に粉蒔きを行うことが必要となるが、漆の乾燥具合と蒔き付けが悪い場合などは、光沢、金色、消金粉の使用量が著しく変化し、数多く生産する場合などには、その技術の経験と熟練度が、製作上非常に重要になってくるものと思われる。



## 消金地工程表



1) 塗立て素地・節研ぎ



5) 摺り漆 1回目



2) 胴摺り



6) 摺り漆 2回目



3) 摺り漆・粉蒔き



7) 摺り漆 3回目



4) 摺り漆・粉蒔き2度蒔き



8) 漆絵

# 消金地

色粉蒔絵

素地の節研ぎ、胴摺りを行い、辺搔漆（生正漆）と釦漆を調合した漆で均一に綿摺りを行う。摺り漆の乾燥具合を見はからいながら、金地用消金粉を蒔き付け、粉留めとして摺り漆1~2回程度行った消金地面へ、消蒔絵の工程同様に色粉（顔料）、色漆、消金粉（上色吉、常色）を蒔きボカシする技法も、色粉蒔絵として会津の独特な技法とされてきた。



## 色粉蒔絵工程表



1) 置目



5) 仕上げ（毛打ち・線描き）



2) 地描き（色粉蒔き）



3) 地描き（色粉蒔き・消金蒔き）



4) 地描き（消金蒔き）

# DESIGN IDEA NO.23

(平成10年3月発行)

## 会津漆器伝統技術 ①

消蒔絵	1
錦絵	3
消金地	5
消金地(色粉蒔絵)	7

### 参考文献

「会津漆器」/「蒔絵の流れ」 山内青司著：日本漆工協会  
「会津塗」：会津漆器協同組合連合・会津青年漆工研究会

福島県ハイテクプラザ  
会津若松技術支援センター

〒965-0846  
会津若松市門田町飯寺字村西651-1  
TEL0242-27-0834 FAX0242-28-6941